

再編時に慌てないための

金の常備薬篇

資金・証憑・権限の整え方



お金の流れが説明できる会社は、最後に強い



常備薬シリーズ



なぜ『金の常備薬』が必要なのか

平時と再編時では、お金の見られ方が変わる

平時



平時は、利益・
売上・資金繰りが
主に見られる。



再編時



しかし再編・縮小・
移転・売却・清算の
局面では、見る
ポイントが変わる。



見るのは、お金そのものではなく
『お金の説明力』。



売掛金は回収できるか



買掛金・未払金は
残っていないか



借入・担保・保証は
外せるか



発票・契約・支払証憑は
揃っているか



本社との資金移動は
説明できるか



残高よりも、
『説明できる流れ』
が重要



金の流れは、会社の健康診断である

帳簿・銀行・現場が一致しているか

金の問題は、最後に突然出るのではなく、
平時の管理のズレが蓄積して表面化します。



このつながりが切れると、
説明できないお金が出てくる。





常備薬① 資金繰り

『今いくらあるか』より『いつ足りなくなるか』

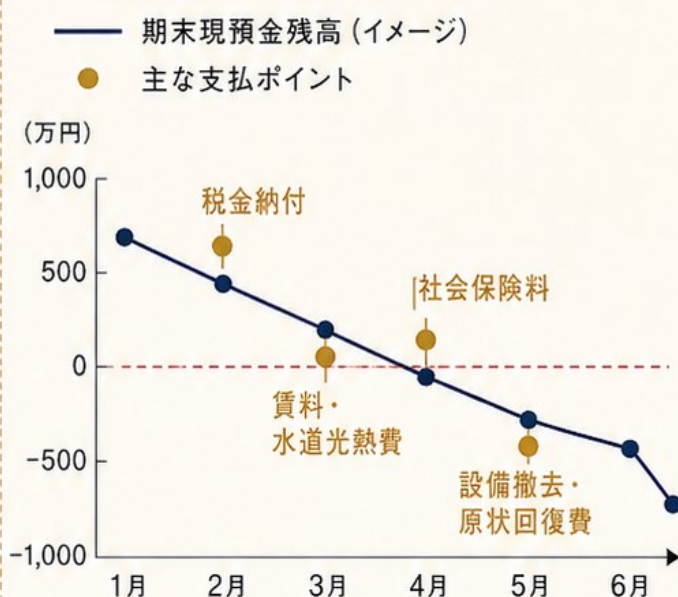
資金繰りは、黒字・赤字だけでは判断できません。

再編局面では、売上が減っても固定費や税金、撤去費用は残ります。

資金繰りチェックリスト

- ☐  月次資金繰り表
- ☐  主要入金予定
- ☐  主要支払予定
- ☐  人件費・社会保険
- ☐  賃料・電気代・水道代
- ☐  税金・清算費用
- ☐  設備撤去・原状回復費

資金繰りイメージ (例)



月次で資金の動きを把握し、不足が見込まれる時期を早めに把握しましょう。



資金が残っているうちに、
選択肢を残す





常備薬② 債権債務

売掛金・未収金・未払金は、 最後に揉めやすい

債権債務は、昔からの慣行や思い込みのまま残りやすく、
再編時に一気に表面化します。

- | | |
|---|--|
| 1  長期滞留売掛金 | 2  回収不能に近い
未収金 |
| 3  取引先との相殺 | 4  未払残業代・補償金 |
| 5  未払い仕入代金 | 6  親会社・関係会社
との貸借 |
| 7  立替金・仮払金・仮受金 | |



『昔からそうだった』では通用しない



説明できない債権債務は、
最後に**清算を止める**ことがある。



常備薬③ 銀行・借入・担保

借りる時より、外す時が難しい

借入や担保は、平時には目立たなくても、
再編時には解除の順番と関係者調整が重要になります。

- ✓  借入残高
- ✓  返済期限
- ✓  担保設定の有無
- ✓  不動産抵当
- ✓  設備担保
- ✓  親会社保証
- ✓  董事・総経理の保証関係
- ✓  銀行口座の凍結リスク



借りる時より、
外す時が難しい



銀行・担保篇につながる入口テーマ


銀行交渉の
進め方


担保解除の
手順


関係者との
調整


リスク回避の
ポイント



常備薬④ 発票・契約・支払証憑

お金は『払った』だけでは足りない

中国では、支払い事実だけでなく、発票・契約・注文書・納品書・検収書・支払記録の整合が重要になります。



どれか一つでも欠けると、
『この支払いは何だったのか』
が説明しにくくなる。

支払いの事実と、説明できる証拠は別物



常備薬⑤ 本社・関係会社とのお金

親子会社間の資金移動は、あとで見られる

平時には便利でも、再編時には説明対象になります。

本社が見ていた景色と、現地で必要な証憑は同じとは限りません。



本社

資金の移動



証憑・契約・合意書などのやり取り



現地法人



親会社からの
貸付



増資・資本金



技術指導料



ロイヤリティ



立替金



配当



送金



関連会社間取引



移転価格



未収・未払の
まま残った取引



本社とのお金は、
『昔からこうしていた』では済まない。

便利だった流れほど、最後に説明が必要になる



常備薬⑥ 人に関わるお金

労務費は、最後に感情と結びつく

給与・補償・社会保険は、単なる費用ではありません。
金額だけでなく、納得と証拠が重要です。



給与未払い



住宅積立金



残業代



退職合意書



賞与



清算組メンバーの処遇



経済補償金



キーマンへの対応



社会保険



+



+



→



人に関わるお金は、
金だけでなく『納得と証拠』で見る。



最後に揉めやすいのは、説明不足と不公平感



常備薬⑦ モノに関わるお金

設備・在庫・廃棄・原状回復は現金を食う

モノの処理には、売却益よりも処分費や調整コストがかかることがあります。
帳簿上の価値と、現場で処分する時の価値は違います。

① 設備売却



② スクラップ処分



③ 在庫処分



④ 補給部品



⑤ 廃棄費用



⑥ 原状回復費



⑦ 環境対応費



⑧ 海関監管品の処理



⑨ 固定資産台帳との差異



帳簿価値



帳簿上は、
まだ価値があるように
見える。

VS

現場価値



現場では、
処分費や調整コストが
先に出ていく。



売れると思っていたモノに、
逆にお金がかかることもある。



モノの整理不足は、最後に**金**の問題になる



金の地雷チェック



最後に慌てないための確認項目

☐		銀行口座と 帳簿残高は 一致しているか	☐		親会社との貸借は 整理されているか
☐		長期未回収の 売掛金はないか	☐		担保・保証は 把握できているか
☐		仮払金・仮受金が 残っていないか	☐		税務清算で 説明できる資料は 揃っているか
☐		発票のない 支払いはないか	☐		人件費・補償金の 見込みはあるか
☐		契約書のない 支払いはないか	☐		原状回復・設備撤去費を 見込んでいるか



金の地雷は、
金額の大小ではなく、
説明できないことから始まる。



『見えているつもり』を、最後にもう一度点検する



金の常備薬とは

金の常備薬とは、
お金を守るためだけの冊子ではありません。
会社の最後の局面で、流れと証拠と説明力を整えるための備えです。



お金は残高だけでは守れない。
守るべきは、流れと証拠と説明力。

関連テーマ



人の
常備薬篇



モノの
常備薬篇



情報の
常備薬篇



銀行・担保篇



税務清算篇



労務篇



合併企業篇

備えが、未来を守ります。